

瀬戸内に新造・引退旅客船を追う

2022.8.16 事務局長 池田良穂

なにげなく AIS で瀬戸内海の船の動静をウォッチしていると、「レディ・サモアⅣ」という船名が目に入りました。場所は広島県の生口島と佐木島間の海面で、近くには「えひめ」という船名も確認できました。インターネットで調べてみると「レディ・サモアⅣ」は内海造船で建造中の貨客船のようです。完成して引き渡されてしまえば、遠い南太平洋で活躍するので二度と見る機会もなさそう。内海造船では、ジャンボフェリーの「あおい」、宮崎カーフェリーの「フェリーろっこう」、マルエーフェリーの RORO 船「琉球エクスプレス」が建造中なので、その姿も見ようと、翌早朝に堺の自宅を出て、広島に向いました。



因島から生名島へのフェリー「いきな」の船上から、艤装中の「フェリーろっこう」と「琉球エクスプレス 7」の姿を拝むことができました。



生名島の海岸から見た「琉球エクスプレス」と「フェリーろっこう」です。



因島から内海造船瀬戸田工場のある生口島へは「第 3 いんのしま」で渡りました。しまなみ海道の橋を渡ることもできますが、やはりフェリー乗船が優先です。昼休みの時間帯だったので 30 分ほど待ちましたが、対岸から「第 3 いんのしま」がやってきて、乗船して生口島の赤崎に上陸しました。車の料金が 200 円と安いのに驚きました。



生口島の海岸から係船中の近海郵船の RORO 貨物船「しゅり」の姿が見えました。新「しゅり」に代替されて売船待ちなのでしょう。第 2 の人生を期待したいと思います。オーナーは、オレンジフェリーと同じ瀬野汽船です。



内海造船瀬戸田工場の艀装岸壁にはジャンボフェリーの「あおい」の姿が見えました。10 月には就航と聞くので、艀装工事も終盤だと思います。横には進水したばかりのコンテナ船の姿がありました。



内海造船の近くの沢港から「第 8 かんおん」に飛び乗りました。同船に乗って三原の須波まで乗ると、よい写真が撮れそうでした。まず出港すると、船上から進水したばかりの貨物船「Sinar Sanur」と「あおい」の並んだ姿を見ることができました。



「Sinar Sanur」の船首です。垂直ステムと、船底部がカットされた特殊な形をしています。



船上から「Lady Samoa IV」のかわいい姿を見ることができました。南太平洋の諸国には、日本政府が ODA で船を建造して供与している事例もあるので、本船もそうかもしれません。



Lady SamoaIV」と「しゆり」がファインダーの中に納まりました!!



AIS にあった「えひめ」は、宇和島運輸の「えひめ」でした。ファンネルマークが消されており、こちらも売船待ちの係船のようでした。



時間があつたので、帰路の途中で宇野港に寄りました。目的は四国汽船の宇野～直島航路の新造船「せと」の撮影でした。到着した時、宇野港の岸壁には、代替された「せとII」だけが停泊していました。



しばらく待つと新造船「せと」が入港してきました。同船の就航する宇野～風戸(直島)航路は、一般徒歩客は乗船できず、車だけの輸送になっています。



直島・宮浦航路の「あさひ」は、徒歩客も車も運びます。